

流れる水と土地の変化（3）

名前

1 次の文は、雨による土地の変化について説明しています。（ ）の中の正しいほうの言葉を○でかこみましょう。

雨がふり続いたり、台風などで大雨がふったりすると、川の水の量が（へって・ふえて）、水の流れる速さが（おそく・速く）なり、流れる水のはたらきが（大きく・小さく）なる。また、川の水の量がふえると、流れる水の土地を変化させるはたらきが（大きく・小さく）なる。

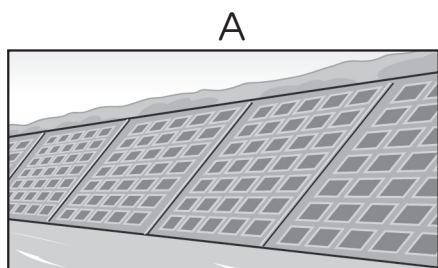
2 次の文は、川の水の流れと災害について説明しています。（ ）にあてはまる言葉を下の□から選び、書き入れましょう。

大雨や（㊦）などで川の水の量がふえると、（㊧）がふれたり、流れる水のはたらきにより（㊨）がけずられたりすることがある。また、そのために（ ）が起きることもある。

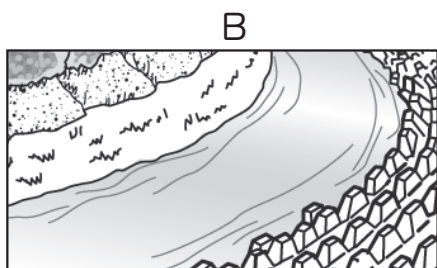
川岸 川の水 災害 地震 台風

*使わない言葉もあります。

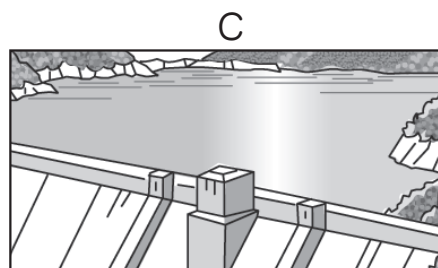
3 下の図は、川の水による災害を防ぐためにくふうしているようすを表しています。あとの問いに答えましょう。



てい防



ブロック



ダム

(1) 次の①～③の文は、図A～Cのどのくふうについて説明していますか。（ ）に記号を書きましょう。

- ① （ ）川が曲がっているところの外側に置いて、水のいきおいを弱める。
- ② （ ）雨水をたくわえ、一度に川の水が下流に流れるのを防ぐ。
- ③ （ ）コンクリートで固め、川岸がけずられるのを防ぐ。

4 川の近くにある水をためる場所で、川の水が急にふえないようにくふうしたところを何といいますか。次の①、②から選び、番号を書きましょう。

- ① 遊水地
- ② さ防ダム